



第53回原産年次大会

2020年4月20日(月)～21日(火)

東京国際フォーラム ホールB7

「2050年に向けたエネルギー・原子力事業の在り方」

日本原子力産業協会は、主要活動のひとつとして、国内外から広く関係者の参加を得て、毎年春に「原産年次大会」を開催しています。

「原産年次大会」は、国内外の原子力関係者および有識者等多数ご参加のもと、エネルギー・原子力開発利用上の重要な問題についての意見発表や討論を行い、本大会を通して重要課題とその解決策を見出すべく、関係者が認識や意識を共有するとともに、交流・相互理解に資することを目的としています。あわせて、わが国原子力産業界の現状・実力を国内外にアピールするとともに、世界に学び、国際協調の重要性を確認する機会となっています。

温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み「パリ協定」により2050年における低炭素社会の実現が求められています。我が国のパリ協定長期成長戦略懇談会では、原子力を選択肢としたエネルギー転換・脱炭素化が謳われています。今大会は、2050年の低炭素社会実現に向けて、海外の取り組みも参考に、エネルギー・原子力事業の在り方や今なすべきことについて幅広い観点から考える機会とします。

*参加者募集のご案内は、2020年2月上旬頃を予定しております。

プログラム (案)

4月20日(月)	4月21日(火)
開会セッション (11:00-12:30) ○今井原産協会会長所信 ○政府来賓挨拶 ○特別講演 ・加来 耕三氏 歴史家・作家	「福島第一原子力発電所の現状と課題」 (09:30-10:00) <講演> セッション2 (10:00-12:45) 「2050年に向けた世界各国での原子力ビジョン」 <講演>
休憩 (12:30-13:45)	休憩 (12:45-14:00)
セッション1 (13:45-16:15) 「2050年に向けたエネルギー供給のあり方」 <パネル>	セッション3 (14:00-17:00) 「2050年の原子力事業を見すえたイノベーション」 <パネル>
休憩 (16:15-16:30)	
(16:30-17:15) 2019年ノーベル化学賞受賞者 吉野 彰氏 特別講演 (旭化成名誉フェロー)	
レセプション (17:30-19:30) (東京国際フォーラム ホールB5)	サイドイベント (予定) (4/20 レセプション時のみ) ○企業による簡易展示 ○福島物産展

お問い合わせ先

(一社)日本原子力産業協会 国際部

〒102-0084 東京都千代田区二番町11-19 興和二番町ビル5F

Tel : 03-6256-9313

Fax : 03-6256-9310

Email : 53rd-annual@jaif.or.jp